

令和4年度 国民体育大会

国体候補選手選考に関する基準

令和4年5月16日

目 次

1-1	(一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳)	1
1-2	(一社) 佐賀県水泳連盟 (水球)	1
2	佐賀県ボート協会	1
3	(NPO法人) 佐賀県ヨット連盟	2
4	(一財) 佐賀陸上競技協会	2
5	(一社) 佐賀県サッカー協会	3
6	佐賀県テニス協会	3
7	佐賀県ホッケー協会	4
8	佐賀県ボクシング連盟	4
9	佐賀県バレーボール協会	5
10	佐賀県体操協会	7
11	(一社) 佐賀県バスケットボール協会	7
12	佐賀県レスリング協会	9
13	佐賀県ウエイトリフティング協会	9
14	佐賀県ハンドボール協会	10
15	佐賀県自転車競技連盟	10
16	佐賀県ソフトテニス連盟	10
17	佐賀県卓球協会	11
18	佐賀県軟式野球連盟	11
19	佐賀県相撲連盟	11
20	佐賀県馬術連盟	12
21	佐賀県柔道協会	12
22	(一社) 佐賀県ソフトボール協会	13
23	(一社) 佐賀県フェンシング協会	13
24	佐賀県バドミントン協会	13
25-1	佐賀県弓道連盟	14
25-2	佐賀県高等学校弓道部	14
26	佐賀県ライフル射撃協会	14
27	佐賀県剣道連盟	15
28	佐賀県ラグビーフットボール協会	16
29	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟	17
30	佐賀県銃剣道連盟 (隔年開催)	17
31	佐賀県スケート連盟	18
32	佐賀県クレール射撃協会 ※栃木大会は実施なし (隔年開催)	19
33	(一社) 佐賀県空手道連盟	19
34	佐賀県スキー連盟	19
35	佐賀県アーチェリー協会	20
36-1	佐賀県カヌー協会 (スラローム・ワイルドウォーター)	20
36-2	佐賀県カヌー協会 (スプリント)	20
37	佐賀県ボウリング連盟	21
38	佐賀県なぎなた連盟	22
39	佐賀県アイスホッケー連盟	22
40	佐賀県ゴルフ協会	23
41	佐賀県トライアスロン協会	23

1-1 (一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳)

項目		内容
選考方法		当該年度の「佐賀県選手権水泳競技大会」で行う。
選考基準		個人種目は、日本水泳連盟が定める標準タイム リレー種目の少年A・Bは、佐賀国スポを見据えて出場を目指す。
選考の内容		個人・リレー共に、佐賀県選手権水泳競技大会出場種目から、当該年度4月1日～7月中の長水路タイムが、日本水泳連盟が定める標準タイムを突破している一番速い者を選出する。リレーは別途考慮する。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 競泳委員長
	担当者名	沖田 祥章

1-2 (一社) 佐賀県水泳連盟 (水球)

項目		内容
選考方法		一次選考：少年男子12名、女子3名を強化指定候補選手として、水球強化担当部会にて選出 二次選考：少年男子12名、女子3名を国体候補選手として、水球強化担当部会にて選出 最終選考：栃木国体候補選手について、少年男子12名、女子3名を(一社)佐賀県水泳連盟にて選出予定
選考基準		候補選手の選考については、水球競技強化担当部会において、1月から4月に実施した合同練習会への取り組みを基本に泳力や戦術理解力及び、練習試合等で応用力等を見極めて国体候補選手を選出した。
選考の内容		一次選考：1月から2月にかけて実施した合同練習会にて選考 二次選考：3月から4月にかけて実施した合同練習会にて選考 最終選考：二次選考までの結果をもとに(一社)佐賀県水泳連盟にて選考
その他		選考対象選手は、当該年度(公財)日本水泳連盟に選手登録が完了した者であること。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 水球担当
	担当者名	濱野 文一

2 佐賀県ボート協会

項目		内容
選考方法		少年の部：該当年度のALL佐賀ボート選手権大会、県高校総体、練習のパフォーマンスを加味して選考する。 成年の部：該当年度のALL佐賀ボート選手権大会と県外在住で大会に参加できない選手はこれまでの競技実績を加味して、協会の強化部で検討し選考する。
選考基準		佐賀県代表として、国体の九州ブロックに出場する意志がある選手の中で、競技力(水上パフォーマンス・体力測定)の高い選手から選考を行う。 過去3年間の競技力も加味して選考を行う。

選考の内容	A L L 佐賀ボート選手権では、国体と同じ1000mのタイムトライアル 過去の体力測定の記録 過去3年間の競技成績	
問合せ先	名称	佐賀県ボート協会 理事長兼トップコーチ
	担当者名	宮谷 康裕

3 (NPO法人) 佐賀県ヨット連盟

項目	内 容	
選考方法	成年 一次選考：男女各相当数を選手強化部より指名 最終選考：当該国体選手男女4名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名 少年 一次選考：男女各相当数を強化選手として選手強化部より指名 最終選考：当該国体に男女各3名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名	
選考基準	強化練習、全九州規模以上の大会成績等、総合的に勘案し、本国体で上位入賞を期待出来る選手且つ、強い意志を持って大会に挑む選手を選考。	
選考の内容	一次選考：5月出場意志・強化活動内容の承諾及び6月までの大会成績を基に選考 最終選考：7月から8月までの期間に強化練習会及び予選会を実施して選考 大会成績のポイント及び全日本規模大会での上位入賞者ポイントについては、各大会以前に該当者へ周知する。	
その他	参加者は、日本セーリング連盟及びNPO法人佐賀県ヨット連盟の会員登録を行っていること。	
問合せ先	名称	NPO法人佐賀県ヨット連盟
	担当者名	井上 宏

4 (一財) 佐賀陸上競技協会

項目	内 容	
選考方法	県記録会、県陸上競技選手権、国体選考会での3大会より、各男女2名程度を強化選手とし強化部より指名する。 九州大会、全国大会等の実績を考慮し強化選手とし強化部より指名する。 栃木国体で設定されている種目から29名を選出し強化部より指名する。	
選考基準	強化練習、県記録会、県陸上選手権、国体選考会の大会成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：県記録会(4/23-24)、県陸上選手権大会(5/14-15)及び選考会の内容を基に選考 二次選考：国体選考会(7/10)の内容を基に選考 最終選考：一次・二次選考と九州大会以上の実績を考慮し選考	
問合せ先	名称	(一財) 佐賀陸上競技協会
	担当者名	丸小野 仁之

5 (一社) 佐賀県サッカー協会

項目	内容	
選考方法	<p>① 少年男子チームの選考：基盤として佐賀県独自で取り組んでいる「トレセン制度（U11～U16まで段階的な選抜選手による強化練習会）」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手を4月から月2回のトレセンを実施し、国体スタッフ5名（監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務）が推薦する。</p> <p>②③ 成年男女チームの選考：4月～7月にかけて3回の選考会を実施し、国体スタッフ5名（同上）が推薦する。</p> <p>○選考決定 技術委員会（委員長、副委員長、国体スタッフ各5名ずつ）を開催し上記①②③からの推薦者について、協議・選定して、サッカー協会会長へ推薦する。 サッカー協会会長が（常務理事会を開催し）最終的に承認し認定する。</p>	
選考基準	<p>選考の基準とするチェックシート（4段階評価、A監督の目標とするチーム戦術理解度、B技術、C体力、D個人戦術、Eサッカーの理解度）を選考スタッフが選手個別に評価する。県大会、選考会、U16九州トレセン大会（少年男子）の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考。</p>	
選考の内容	<p>国体スタッフが考えるゲームモデルを念頭に、個々の特徴を勘案し、国体スタッフ全員で選定している。</p> <p>① 少年男子 一次選考：4月10日選考会、U16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考：5月から6月までの期間に強化練習会を4回実施 最終選考：7月に強化練習会を2回実施</p> <p>②③ 成年男女 4月～7月にかけて3回の選考会を実施</p>	
その他	<p>選考チェックシートを活用（4段階評価） 選考時に「A監督の目標とするチーム戦術理解度」、「B技術」、「C体力」、「D個人戦術」、「Eサッカーの理解度」「F個人の特徴」の6つの項目でのチェック</p>	
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県サッカー協会事務局
	担当者名	中西 順也

6 佐賀県テニス協会

項目	内容
選考方法	<p>成年：一次選考、二次選考により代表選手を決定 少年：県高校総体シングルスベスト8の選手と、協会推薦の中学校3年生を加えた選考会により代表選手を決定</p>
選考基準	選考会の結果による

選考の内容	成年：一次選考はトーナメント。二次選考はトーナメントまたはリーグ戦を行い上位2名を代表選手、3位を補欠選手とする。 少年：県高校総体個人戦シングルス（トーナメント）を行い上位8名を選び、二次選考ではトーナメント上位2名を代表選手、3位を補欠選手とする。	
その他	佐賀県テニス協会登録者、佐賀県在住または在学（勤務）者、ふるさと選手	
問合せ先	名称	佐賀県テニス協会
	担当者名	島 信隆

7 佐賀県ホッケー協会

項目	内 容	
選考方法	少年男女：監督・コーチが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定 成年男女：監督・コーチ・キャプテンが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定	
選考基準	少年成年男女：強化練習、大会での活躍等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	4月から7月までの期間、強化練習活動の内容を基に選考。	
その他	参加者は佐賀県ホッケー協会の会員であること。 また、日本ホッケー協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県ホッケー協会事務局
	担当者名	事務局長：川原 邦弘

8 佐賀県ボクシング連盟

項目	内 容	
選考方法	1次選考：少年・成年男子・成年女子各階級3名を強化選手として選出 2次選考：少年・成年男子・成年女子各階級2名を強化指定選手として指名 最終選考：栃木国体選手として少年・成年男子5名・成年女子1名を佐賀県ボクシング連盟より指名	
選考基準	少年の部は県総体・全九州総体の成績や強化練習会での内容等を、成年の部は大学リーグ戦の成績や、大学での活動状況を勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	上記選考基準のもとにスパーリング選考会をおこなう。	
その他	選手登録は必須事項	
問合せ先	名称	佐賀県ボクシング連盟事務局
	担当者名	前田 真一

9 佐賀県バレーボール協会

項目	内容	
選考方法	一次選考：強化選手を選考母体として、強化対策委員会より指名 二次選考：一次選考を国体候補選手原案として強化委員会より指名 最終選考：九州ブロック国体ならびに栃木国体選手男女各12名を佐賀県バレーボール協会常任理事会にて承認	
選考基準	協会内「*SAGA2024国スポ選手等選考基準」にて選考 *：別紙参照	
選考の内容	一次選考：関係する下記の大会成績等の内容を基に選考 最終選考：6月から7月までの期間に強化練習会を実施し選考 記 ○強化練習会および○国体予選会 ○高校新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○高校総合体育大会 ○全日本高等学校選手権大会（春高バレー） ○天皇杯・皇后杯県ラウンド	
その他	参加資格は、（公財）日本バレーボール協会2022年度MRS登録済みの佐賀県在住者及び、県内高校生、ふるさと選手	
問合せ先	名称	佐賀県バレーボール協会
	担当者名	池上 寿伸

国民スポーツ大会バレーボール競技代表選手・監督選考に関する申合せ

佐賀県バレーボール協会

国民スポーツ大会において上位入賞を目指す為に、次の選考基準を設ける。

1 選手選考について

(1)少年男女の部

- ①チーム構成は、原則として県内高校生から選抜された選手とする。
- ②候補選手の選考は、下記の大会を基準として佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会（以下、国スポ対策委員会）及び佐賀県バレーボール協会強化委員会（以下、強化委員会）が総合的に判断して選出する。
○新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○佐賀県高校総合体育大会
○全日本高等学校選手権大会（春高バレー）佐賀県大会
- ③候補選手は、佐賀県バレーボール協会常任理事会（以下、常任理事会）に諮り、常任理事会で審議して最終決定する。
- ④選手に欠員が出た場合は、強化委員会が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

(2)成年男子の部

- ①チーム構成は、佐賀県在住者の中から選抜した者及びふるさと選手とする。

(3)成年女子の部

- ①チーム構成は、久光スプリングスに一任する。

(4)ビーチバレーボールの部

- ①チームについては、県内高校生ペアとする。

②候補選手の選考は、下記の大会を「国民スポーツ大会佐賀県予選会」とし、原則として優勝チームを候補チームとする。

○ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会佐賀県予選会

○全日本ビーチバレージュニア男子選手権佐賀県予選会

③候補チームは、国スポ対策委員会及び佐賀県ビーチバレーボール連盟で選考し常任理事会に諮り、常任理事会で審議し最終決定する。

④候補選手に欠員が出た場合は、佐賀県ビーチバレーボール連盟が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は協議決定し常任理事会に報告する。

(5)中学生の部(JOC選抜)

① 候補選手の選考は、下記の大会を基準として各地区の強化担当の指導者と佐賀県バレーボール協会中学校部会強化委員会が身体能力、将来性等を考慮し、総合的に判断して選出する。

○新人大会(11月) ○選抜優勝大会県予選会(2月)

○県選手権大会(4月) ○県総合体育大会(7月)

② 各大会の実施後に、それぞれの地区で実施される強化練習会やリーグ戦を候補選手選考の参考にする。

③ 本人、保護者の了承を得られ、かつバレーボールに対して意欲があること。

④ 候補選手は、県協会中学校部会常任理事会において中学校部会強化委員会が報告する。

⑤ ④の後、候補選手は、佐賀県バレーボール協会常任理事会(以下、常任理事会)に諮り、常任理事会で審議して最終決定する。

⑥ 選手に欠員が発生した場合は、中学校部会強化委員会が協議決定し、中学部会常任理事会へ報告する。

⑦ ⑥の後、佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会(以下、国スポ対策委員会)に諮り、国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

2 代表チーム監督の決定について

(1)監督については、国スポ対策委員会で審議し監督候補を選出する。

(2)国スポ対策委員長は、監督候補本人並びに所属長の承諾を得て常任理事会に諮り、常任理事会で審議して決定する。

(3)国スポ対策委員長は、常任理事会の審議結果を代表監督本人及び所属長に報告する。

(4)監督以外のチームスタッフについては、代表監督が選考推薦して強化対策委員会及び常任理事会に報告する。

(5)成年女子の部については、久光スプリングスに一任する。

(6)2024年国民スポーツ大会まで少年男子・女子及び成年男子の監督については、特別の理由がない限り変更しない。

①少年男子の部:江口 聡(佐賀学園高等学校)

②少年女子の部:野中 健志(佐賀清和高等学校)

③成年男子の部:蒲原 和孝(佐賀学園高等学校)

【附則】

・この申合せは2018年(平成30年)5月1日より実施する。

・2021年(令和3年1月30日改正)

令和 3年1月30日より実施する。(ビーチバレーボール競技の項追加)

・2021年(令和3年3月13日改正)

令和 3年3月13日より実施する。

・2021年(令和3年4月1日改正)

令和 3年5月8日より実施する。

・2022年(令和4年4月2日改正)

令和4年4月2日より実施する。(少年男子及び成年男子監督変更)

10 佐賀県体操協会

項目	内容
選考方法	一次選考：国体予選会により上位より指名 二次選考：それぞれの強化部より国体候補選手として指名 最終選考：三重国体選手を佐賀県体操協会より指名
選考基準	強化練習、国体予選会の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考。
選考の内容	一次選考：国体予選会の内容を基に選考(新体操5月5日、体操5月29日) 二次選考：それぞれの強化部により強化練習会を実施し選考 最終選考：常任理事会により選手を選考
その他	参加者は佐賀県体操協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称 佐賀県体操協会事務局
	担当者名 坂井 欣吾

11 (一社) 佐賀県バスケットボール協会

項目	内容
選考方法	【成年】 1次選考：春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考 2次選考：強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定
	【少年】 1次選考：選考大会・トライアウトにおいて男女各15名程度を強化委員会において指名 2次選考：強化練習会・強化合宿においてエントリー選手と予備登録選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定
選考基準	【成年男子】 ・国体強化練習会への参加し、佐賀県代表として国体に出場する強く意欲がある選手 ・代表選手として技術・知識を持ってブロック、本大会を勝抜く力を持つ選手 ・ふるさと選手：可能な限り練習会に参加し、チームに貢献できる選手 ・その他シュート力、身体能力、精神力など個性をチームで活かせる選手
	【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加 ・ふるさと選手は現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲 強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考 ・その他、随時選考の機会は可能な限り期間内に設ける 上記の機会に各種別スタッフ陣で選考し、強化委員会・理事会へ報告する。

選考基準	<p>【少年男子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年種別はスタッフが推薦する選手（意欲、リーダーシップ、チーム貢献度、自覚など） ・トライアウトへの参加
	<p>【少年女子】</p> <p>リーダーシップがあり、仲間に良い影響を与えひたむきに取り組む 絶えず声を出し元気いっぱいのプレーで、仲間に良い影響を与え良い表情でプレーできている 仲間に声をかけ、プレー、または雰囲気をも明らかに良くしている 身長、手足の長さ、抜き際のスピードや走るスピード、ただしプレーの正確さを兼ねていること 対人攻防におけるプレーの力強さ。コンタクトを好んでいる 切り返しの速さ、ターンの速さ、連続した方向転換の速さ ボディバランスを保ち、ストップからターンやシュート、またはディフェンス時のコースチェックができる 成功率それぞれ、フリースロー90%、ジャンプシュート 50%、スリーポイント 35% ※シュートドリルではジャンプシュート 70%、スリーポイント 55%が望ましい TPOに応じた味方がいきるようなパスができる コンタクトを好み、より高い位置でボールを保持することができる コンタクトを好み、ファウルをせずに相手の動きを制限することができる プレーが上手くいくための技術を持ち合わせている 自身あるいは味方の状況が優勢になるための効率の良いプレーを選択できる オフェンス時に味方に合わせて動いたり、スクリーンをかけて味方をいかしたりすることができる ディフェンス時に相手に簡単なプレーをさせないようなタイミング、あるいは簡単なプレーをさせないような場所にカバーに行ったりローテーションすることができる</p>
選考の内容	<p>【成年男子】</p> <p>1次選考：4/18・4/24に選考大会を実施 2次選考：5/6~7/25強化練習会・強化練習試合において最終選考</p>
	<p>【成年女子】</p> <p>4/18に選考大会を実施 2次選考：強化練習会・強化合宿を実施 6/5に練成会を実施 社会人（上記選考大会上位2チーム）、高校生（選抜大会上位2チーム）、その他県外大学（佐賀出身者在籍している）などを含めた練成会を実施</p>
	<p>【少年】</p> <p>1次選考 令和4年6月4日（土）9：30～12：30 男子選手：佐賀県内体育館 女子選手：佐賀県内体育館 ※参加人数によっては午前の部と午後の部に参加選手を分けてトライアウトを行う。その場合の午前の開催時間は9：30～12：30、午後の開催時間は14：30～17：00まで。</p>

その他	2022年度JBAチーム加盟・競技者登録が完了している選手。（加盟団体：一般社団法人佐賀県バスケットボール協会） 都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会のうち、直前に出場した大会において、佐賀県と異なる都道府県から参加していない選手。 ふるさと選手は中学校までの教育課程を佐賀県で受けた選手。	
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県バスケットボール協会
	担当者名	中村 洋介 (強化委員長)

1 2 佐賀県レスリング協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：佐賀県強化選手の中から、佐賀県国体候補選手として、強化委員会より指定。 二次選考：国体候補選手の中から、各大会の成績等を考慮し、強化委員会より指定。 最終選考：栃木国体選手成年6名、少年7名、女子2名を強化委員会より指名。	
選考基準	強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：過去の実績等をもとに強化委員会の協議にて選考。 二次選考：各大会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。 最終選考：県強化委員会が開催する強化練習会に参加する。	
問合せ先	名称	佐賀県レスリング協会事務局
	担当者名	田代 大貴

1 3 佐賀県ウエイトリフティング協会

項目	内 容	
選考方法	成年男子：県国体予選及び九州ブロックの結果を参考に出場選手を選考 女子：県国体予選会に結果で出場選手を選考 少年男子：県国体予選会及び全国高校総体の結果で出場選手を選考	
選考の内容	県協会の選考基準を活用	
問合せ先	名称	佐賀県ウエイトリフティング協会
	担当者名	小川 稔

佐賀県ウエイトリフティング協会 国民体育大会出場選手選考基準

- 第1条 目的**
佐賀県ウエイトリフティング協会運営規則第10項に規定する選手選考の参考とするため選考基準を設けるものとする。
- 第2条 選考委員会**
選考委員会は、理事以上の役員5名程度で編成する。
選考委員会は、選考基準の指標に基づき公正に選考すること。
- 第3条 選考基準**
成年男子並びに女子選手の選考基準は、県国体予選会、九州ブロック大会の結果を国民体育大会過去3年間の平均記録と比較して、上位の者を選考する。
少年男子は、県国民体育大会予選会並びに全国高校総体の結果と国民体育大会過去3年間の平均記録と比較して上位の者を選考する。

この基準は、令和4年4月1日から実施するものとする。

※参考

◎地域クラブについて

- ・各クラブの運営はクラブ独自で運営する。
- ・各クラブは未経験者の発掘に努め競技人口の増加を図る。
- ・各クラブは競技普及、及びトラブル防止の観点から各クラブ同士からの引き抜き、勧誘は行わない。

◎佐賀県ジュニアスリート支援事業(強化指定選手)について(佐賀国スポまでの期間限定)

- ・対象者は中学生並びに高校生5名以内。
- ・中学生は全国中学生大会3位以内の成績を収めたものを対象とする。
- ・高校生は全国高校総体で8位以内の成績を収めたものを対象とする。
- ・対象者が5名以上となった場合は、過去半年の記録の伸び率及びトレンドを考慮し対象者を決定する。

1.4 佐賀県ハンドボール協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各20名を強化選手として、強化部より指名 二次選考：男女各15名を国体候補選手として強化部より指名 最終選考：栃木国体選手男女12名を佐賀県ハンドボール協会より指名	
選考基準	強化練習会、春季大会、高校総体の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：春季総合、高校総体及び選考会の内容を基に選考 二次選考：11月から3月までの期間に強化練習会を2回実施 最終選考：4月から7月までの期間に強化練習会を2回実施	
その他	参加者は佐賀県ハンドボール協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録をされている選手。	
問合せ先	名称	佐賀県ハンドボール協会事務局
	担当者名	船津 久和

1.5 佐賀県自転車競技連盟

選考方法	国体選手男女12名を佐賀県自転車競技連盟より指名	
選考基準	練習会、公式大会の成績等、総合的に勘案し、国体で上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	年間の各種公式大会の成績により候補選手を選考し、強化練習会や記録会を実施する。	
その他	JCF登録者	
問合せ先	名称	佐賀県自転車競技連盟
	担当者名	浅井 正史

1.6 佐賀県ソフトテニス連盟

項目	内 容	
選考方法	強化部で国体県選考会を実施して、その後の練習会で他の選手を選考する。	
選考基準	強化部で国体県選考会を実施して第1位を内定、その後の練習会で他の選手を選考する。	

選考の内容	予選会実施予定 ・成年男子 (3/20(日)、6/4(土)、6/5(日)) ・成年女子 (4/10(日)、6/18(土)、6/29(日)) ・少年男女 (6/4(土)、6/5(日))
その他	強化部で選考された選手を常任理事会に具申し、常任理事会で審議、決定する。
問合せ先	名称 佐賀県ソフトテニス連盟
	担当者名 佐伯 善春

17 佐賀県卓球協会

項目	内 容
選考方法	当該年度、7月中旬に佐賀県代表選手選考の予選会を開催。
選考基準	予選会1位は決定、後の2名は上位の成績の選手を、県卓球協会常任理事会において選考する。
選考の内容	常任理事会において、予選会の上位者を基準に審議し決定する。 成年男子のスポーツメンター2名は選手決定とする。
その他	予選会参加資格は、国民体育大会出場資格とする。
その他	予選会参加資格は国民体育大会出場資格とする。
問合せ先	名称 佐賀県卓球協会
	担当者名 福島 美佐子

18 佐賀県軟式野球連盟

項目	内 容
選考方法	佐賀県軟式野球連盟に登録しているA級8チーム及び支部代表8チームにより、選考会を開催して、代表選手を決定する。
選考基準	選考会で推薦した選手を強化練習、強化試合の成績等により総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で好成績を期待できる選手を選考し、選抜チームを編成する。
選考の内容	6月開催の国民体育大会選考会 7月、8月の強化練習、強化試合等
その他	参加資格は、全日本軟式野球連盟に登録しているチーム及び選手。または、連盟に登録されていないチームおよび選手であっても、連盟の定める規定を遵守する承諾書を末端支部を経由して提出することにより仮登録とみなし、出場することができる。
問合せ先	名称 佐賀県軟式野球連盟
	担当者名 森脇 正弘

19 佐賀県相撲連盟

項目	内 容
選考方法	最終選考会等により、佐賀県相撲連盟で承認のうえ選手決定
選考基準	成年：社会人は選考会の結果を基に、大学生は今年度大会成績及び過去の実績を基に選考 少年：選考会の結果を基に選考

選考の内容	成年：社会人は選考会参加者による総当り戦を実施し成績上位者を選考、大学生は選考会を実施せず今年度の大会成績及び過去の実績を基に選考 少年：選考会参加者による総当り戦を実施し、成績上位者を選考	
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	担当者名	村上 英昭

20 佐賀県馬術連盟

項目	内容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・仮選考、今いるメンバーが少ない為、ほぼ年齢に達する者は強化選手。 ・この中で、アドバイザー・各コーチ・会長・理事長で国体予選参加レベルに達した者を出場させることを理事会等で検討する。 ・最終選考は、アドバイザー・各コーチ・会長・理事長で再検討する。 	
選考基準	各競技への参加で強化練習で行っている技術面、メンタル面等を勘案し、九州ブロック大会や本国体に対応できる選手を選考	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一次選考：決まった期間の強化練習を4月～5月まで ・最終選考：6月～本国体まで 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活態度なども選手の基準とする ・馬に対するウエルフェア等も観察する 	
問合せ先	名称	佐賀県馬術連盟
	担当者名	横武 美早紀

21 佐賀県柔道協会

項目	内容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度国体選考会の結果を踏まえて強化部会より指名 ②今までの各種大会結果を踏まえて強化部会より指名 最終選考：栃木国体選手を佐賀県柔道協会より指名	
選考基準	国体選考会及び今までの大会等を勘案し、本国体及び九州ブロック大会でチームとして一丸となり上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	国体選考会の結果と今までの実績等を基に選考	
その他	参加者は、佐賀県柔道協会の会員であること また、令和4年度の全柔連登録が完了していること	
問合せ先	名称	佐賀県柔道協会事務局
	担当者名	宮崎 豊

2 2 (一社)佐賀県ソフトボール協会

項目	内 容
選考方法	<p>成年男子：佐賀県内の一般男子登録チームを対象として予選会を実施し、優勝チームを主体として補強を行いブロック国体へ出場。</p> <p>成年女子：県内にはひらまつ病院のみしか活動していないため同チームを主体としてふるさと選手を活用し、ブロック国体へ望む。</p> <p>少年男子：牛津高校を主体に強化を図りブロック国体へ望む。</p> <p>少年女子：高校総体の成績を重視し、補強を図りブロック国体へ望む。</p>
選考基準	各種別ともそれぞれの大会における成績を参考に選手選考を行う。
選考の内容	中学校体育連盟専門委員長、高等学校体育連盟専門委員長との協議を行い選手選考を行う。選考後は強化練習を行い本国体出場を図るべく選手強化を行う。
その他	選考された選手は強化練習、試合には積極的に参加し、チーム強化に努めること。
問合せ先	名称 (一社)佐賀県ソフトボール協会
	担当者名 事務局長 辻 政徳

2 3 (一社)佐賀県フェンシング協会

項目	内 容
選考方法	<p>一次選考：男女各 6 名を強化選手として、強化部より指名</p> <p>最終選考：国体選手県予選を実施し、上位 2 名を決定</p> <p>残り 1 名は選考会・実績を考慮し、強化委員会で選出</p> <p>各種別男女各 3 名を一般社団法人佐賀県フェンシング協会にて指名</p>
選考基準	強化練習、県総体、九州大会、インターハイの成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	<p>・成年選手はフルーレ→サーブル・エペの順に 5 本勝負総当たりを実施、2 種目の総合得点で順位を決定。</p> <p>・少年選手はフルーレの 5 本勝負総当たりを 2 回実施、総合得点で順位を決定。</p> <p>(得点表)</p> <p>1 位 8 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点</p>
その他	<p>参加者は一般社団法人佐賀県フェンシング協会の会員であること。</p> <p>また、令和 4 年度の協会登録費を完納していること。</p>
問合せ先	名称 一般社団法人 佐賀県フェンシング協会
	担当者名 野本 尚子

2 4 佐賀県バドミントン協会

選考方法	<p>一次選考：男女各 5 名を強化選手として、強化部より指名</p> <p>最終選考：三重国体選手男女、各 3 名を強化部より指名</p>
選考基準	強化練習、春季大会、高校総体の成績等を総合的に判断し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	<p>少年男女：春季大会（4月）、高校総体（5月末）の結果を基に選考</p> <p>成年男女：7月に実業団との強化練習会を実施</p>

問合せ先	名称	佐賀県バドミントン協会
	担当者名	森田 広貴

25-1 佐賀県弓道連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各5名を国体候補選手として、強化部より指名 最終選考：栃木国体選手男女各3名を佐賀県弓道連盟より指名 ※例年であれば二次選考を行うが、今年度はコロナの関係で二次選考を省略	
選考基準	強化練習及び各種大会において、射形・体配・的中を総合的に鑑み、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：春季大会及び選考会（4回）の内容を基に選考 最終選考：6月から7月までの期間に強化練習会を6回実施	
その他	参加者は佐賀県弓道連盟の会員であること	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	岩屋 洋太郎

25-2 佐賀県高等学校弓道部

項目	内 容	
選考方法	国体選考会を6月12日（日）に実施 一次選考 男女各数名候補者を指定 最終選考 男女国体選手を指名	
選考基準	的中、射形、体配から、九州ブロック及び本国体で予選通過可能な選手を選考	
選考の内容	国体選考会を6月12日（日）に実施 一次選考 遠的・近的競技により、男女各数名を上位から候補者を指定 最終選考 射形等考慮し、男女国体選手を県弓道連盟より指名	
その他	選考対象は、県内高校生及び各地区の連盟会員高校生であり、6月12日（日）の国体選考会に参加した者とする	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟・佐賀県立唐津商業高等学校
	担当者名	井手 悠

26 佐賀県ライフル射撃協会

項目	内 容	
選考方法	選考委員会（理事会で兼ねる）で選考の記録会等の資料をもとに選考する。	
選考基準	ブロック通過と天皇杯得点を多くとることを目指して選考する。 佐賀県代表選手としてふさわしくない重大な行為を行った場合は、選考の対象から除く場合もある。	

選考の内容	<p>選考の資料</p> <p>○成年のライフル種目</p> <p>① 当該年度の5, 6月の県選考記録会の成績を基本とするが、不参加の場合、同時期の大会の成績を使って選考する。大会がない場合、理事立ち会いの下、県の射場等で記録をとり利用する。</p> <p>② エントリー選手のいない種目については、他の大会成績等により、委員会で協議し決定する。また、新型コロナウイルス感染症等の重大な状況の影響によっては委員会で協議し、前年度の大会成績を選考の対象、または参考にする場合もある。</p> <p>③ ストレート種目に2種目目がある場合に、前回大会で入賞得点を打っている選手がいる場合、選考で考慮する。</p> <p>○Jr種目</p> <p>① SAGAサンライズパーク射場での当該年度の記録会や九州高校等の成績で選考する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症等の重大な状況の影響によって記録会や大会が開催されない場合は委員会で協議し、前年度の大会成績やそれまでの記録会の成績で選考する。</p> <p>○成年のピストル種目</p> <p>(AP) SAGAサンライズパーク射場で当該年度の5, 6月に選考記録会を行い、選考する。</p> <p>(CP) 当該年度に県ラ理事立ち会いの下、警察学校射場で記録を取る。</p>	
	問合せ先	<p>名称 佐賀県ライフル射撃協会</p> <p>担当者名 高柳 喜人</p>

2.7 佐賀県剣道連盟

項目	内容
選考方法	<p>(高校生) 別紙のとおり</p> <p>(一般男子) 5月15日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征の際の成績をもとに選出する。</p> <p>(一般女子) 5月15日に開催する国体予選会で候補者を選考し、その後県外遠征及び九州ブロック大会の成績をもとに国体選手を選出する。</p>
選考基準	<p>(高校生) 別紙のとおり。</p> <p>一般男女は佐賀県予選会を開催し、原則優勝した者を候補選手とする。</p>
選考の内容	<p>(高校生) 別紙のとおり</p> <p>1 公式戦を最重要視する。</p> <p>2 県外等での試合結果を参考にする。</p> <p>3 選手の適性に応じたポジションを考慮する。</p>
その他	<p>1 高校総体団体優勝男女の監督を、基本的に国体の監督とし、佐賀県剣道連盟と協議する。</p> <p>2 公平な立場で、ポジションを監督・コーチ及び選手を交え決定する。</p> <p>3 佐賀県剣道連盟審議委員会を開催し選手選考については公正を期する。</p>

問合せ先	名称	佐賀県剣道連盟
	担当者名	徳永 清成

令和4年度国体選手選考方法について（高校の部）							
選考方法	ポイント制						
参考大会	県内	佐賀県高等学校新人剣道大会・全国選抜剣道大会佐賀県予選会 ・佐賀県高等学校春季剣道大会・佐賀県高等学校総合体育					
	県外	九州選抜剣道大会・全国選抜剣道大会・九州総体・全国総体					
選考基準	県大会	個人	優勝	5点	団体点	優勝4名	1点
			2位	4点		2位3名	1点
			3位	3点		3位2名	1点
			ベスト8	1点			
	九州大会	個人	優勝	8点	団体点	優勝4名	2点
			2位	6点		2位3名	2点
			3位	4, 5点		3位2名	2点
			ベスト8	3点			
	全国大会	個人	優勝	15点	団体点	優勝4名	3点
			2位	12点		2位3名	3点
			3位	10点		3位2名	3点
			ベスト8	5点			
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> * 県総体の得点は1.5倍にする * 最終決断は、7月4日まで開催された全九州大会までみて判断し、関係高校監督 * すべてがポイントで決定というわけではなく、ポジション等を考慮しての監督推 						
その他	国体選手及び監督については、高体連推薦（原則県総体団体優勝監督）のもと剣道						

28 佐賀県ラグビーフットボール協会

項目	内容
選考方法	少年は高校総体等で選考をしている。 成年、女子は強化委員会で選考をしている。 ふるさと選手については強化委員会より本人への打診とチーム関係者との協議により選考をしている。
選考基準	本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手の選考 強化委員会が実施する夏の合宿及び強化練習会に参加できること。 成年及び女子についてはふるさと選手の活用が必要であるが、個人及びチーム状況等を配慮しながら選考を行っている。
選考の内容	少年は選考会等の結果により、強化委員会で決定している。 成年及び女子等については県内選手だけでのチーム編成では厳しい状況があるので、ふるさと選手の選考が重要であるが、所属チームの状況を把握しながらの選考となる。

その他	選手選考の意思決定としては、強化委員会で決定し協会理事会へ報告	
問合せ先	名称	佐賀県ラグビーフットボール協会
	担当者名	尾形 孝則

29 佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：4月上旬県予選会を実施 国体参加資格選手より候補選手を男女上位2～3名を選出 種別によっては、一次選考で決定する場合もある。 二次選考：候補選手から男女2名を連盟より指名	
選考基準	強化練習、県予選会、九州ブロックジュニア選手権(リード)、ボルダリングユース大会(倉吉)、その他の大会等の成績を総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：県予選会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：4月から6月までの期間に強化練習会を5回実施	
その他	参加者は佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟
	担当者名	武末 良樹

30 銃剣道連盟 (隔年開催)

項目	内 容	
選考方法	少年の部：6月中旬1次予選、7月中旬2次予選を実施 成年の部：7月中旬予選会を実施（1回）	
選考基準	少年・成年ともに予選会の順位を第一優先とするも、少年の選考については、7月九州大会、全国高校生大会の成績を加味する。	
選考の内容	少年・成年ともにリーグ戦を実施	
その他	成年はふるさと選手	
問合せ先	名称	佐賀県銃剣道連盟
	担当者名	河合 大地

国民体育大会スケート競技派遣選手 選考基準

平成30年10月25日

(公財)佐賀県スポーツ協会

1 選考方法

国民体育大会冬季大会スケート競技については、本県選手として派遣できる選手数が限られていることもあり、以下の基準に基づき、佐賀県スケート連盟から推薦された選手について、本協会競技力向上委員会規程第4条第5号の規定により、同委員会の承認を経て決定する。ただし、同委員会に諮るいとまがない場合には、会長の決裁を得て決定することとし、次に開催される同委員会の場において報告するものとする。

2 選考基準

(1) スピード・ショートトラック

- ① (公財)日本スポーツ協会から通知される各大会の参加選手人員枠の範囲内で人員を選考する。
- ② 選手については、各大会における実施要項に示される参加資格基準(年齢基準、(公財)日本スケート連盟バッジテスト基準級以上)を満たしていること。
- ③ 佐賀県スケート連盟において、県内選考会を踏まえて推薦されていること。ただし、選考会出場者が限定されることとなり、県内選考会が必要ないと認められる場合には、②の基準を満たしている選手について県内選考会を経ずに推薦することができるものとする。

(2) フィギュア

- ① (公財)日本スポーツ協会から通知される各大会のフィギュア競技予選会の参加選手人員枠の範囲内で人員を選考する。
- ② 選手については、各大会における実施要項に示される参加資格基準(年齢基準、(公財)日本スケート連盟バッジテスト基準級以上)を満たしていること。
- ③ 佐賀県スケート連盟において、県内選考会を踏まえて推薦されていること。ただし、選考会出場者が限定されることとなり、県内選考会が必要ないと認められる場合には、②の基準を満たしている選手について県内選考会を経ずに推薦することができるものとする。

附 則

- 1 平成31年4月1日一部改正

3.2 佐賀県クレー射撃協会 ※栃木大会は実施なし（隔年開催）

3.3 （一社）佐賀県空手道連盟

項目		内容
選考方法		① 過去の戦歴を基にポイントをつける。（紙上選考） ② ①のポイントに基づき、各種大会結果のポイントを加算する。 ③ 7月に行われる全九州大会、九州ブロック大会までを加算の対象とする。獲得ポイントがトップの選手が国体の選手となる。
選考基準		ポイント制 （紙上選考のポイントに基づき、各種大会の成績を加算する） 紙上選考・・・A指定10P、B指定7P、C指定4P 各種大会・・・優勝（10P）、2位（8P）、ベスト4（6P）、 ベスト8（4P）、参加点（2P）
選考の内容		第1次選考会・・・紙上選考（1月）国体出場希望者 第2次選考会・・・県大会（4月） 第3次選考会・・・県内選考会（5月）少年は県総体含む 第4次選考会・・・全九州大会、ブロック大会
その他		参加者は（一社）佐賀県空手道連盟の会員であること。 また、当該年度の連盟登録費を完納していること。
問合せ先	名称	（一社）佐賀県空手道連盟
	担当者名	山本 史子

3.4 佐賀県スキー連盟

項目		内容
選考方法		予選会を実施し、結果を基に練習会や合宿への参加状況等を考慮して常任理事会で決定し、理事会に報告する。
選考基準		同上
選考の内容		同上
その他		①当該年度 佐賀県スキー連盟及びSAJ 登録者、または現住所・勤務地が佐賀県内にある者、出身中学・高校所在地が佐賀県内にある者。（高校生は競技者登録も必要とする） ②佐賀県内の中学校または高等学校に在籍する生徒であり、転校後6ヵ月以上経過している者。（ただし、一家転住による転校に関しては除外する） ③上記①②の2点において該当し、かつ県予選及び各全国大会出場に関し保護者の同意が得られている者。（中学生・高校生）
問合せ先	名称	佐賀県スキー連盟事務局
	担当者名	立川 栄

35 佐賀県アーチェリー協会

項目	内 容	
選考方法	国体予選一次、二次、三次予選及び選手選抜委員会にて選考する	
選考基準	原則国体予選の結果を基に総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次予選：大会結果 二次予選：大会結果 三次予選：大会結果	
その他	参加者は佐賀県アーチェリー協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アーチェリー協会
	担当者名	岩田 健佑

36-1 佐賀県カヌー協会(スラローム・ワイルドウォーター)

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女10名程度を強化選手として、強化部より指名 最終選考：栃木国体選手(栃木国体九州ブロック出場選手)6名を佐賀県カヌー協会より指名	
選考基準	強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考した者の中から、大分県豊後大野市で4月中旬に開催される大野川スプリングカップカヌースラローム・ワイルドウォーター大会を佐賀県予選と位置づけ、九州ブロックで上位を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考 最終選考：4月中旬に大分県豊後大野市で開催される大野川スプリングカップカヌースラローム・ワイルドウォーター大会の成績を基に選考	
その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。 ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国体に出場することを認める。	

36-2 佐賀県カヌー協会(スプリント)

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女20程度を強化選手として、強化部より指名 最終選考：栃木国体選手(栃木国体九州ブロック出場選手)17名を佐賀県カヌー協会より指名	
選考基準	強化練習合宿、高校総体、全日本、全日本Jr、海外選考会等、総合的に勘案し、九州ブロックで上位を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：強化練習合宿、各大会の内容を基に選考 最終選考：3月～6月初旬までの期間(少年は九州総体結果までを基に最終選考、成年は当該年度の県総体までの期間、県選考会、各大会を基に最終選考)で選考する。	

その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。 ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国体に出場することを認める。	
問合せ先	名称	佐賀県カヌー協会事務局(神崎市役所福祉課内)
	担当者名	事務局長 島 憲一

3.7 佐賀県ボウリング連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>一次選考：連盟主催の選考会(年3回：1回当たり12ゲーム消化)を実施し、各種別ごとに種別定数に1.5割増人数を候補選手として選考委員会が指名</p> <p>二次選考：各種別の正選手定数と2名以内の補欠選手を選考委員会が指名</p> <p>最終選考：当該年度の本国体及び九州ブロック大会への出場正選手を佐賀県ボウリング連盟の選考委員会が正選手及び補欠選手かを審議し、最終的に委員長が決定して指名</p>	
選考基準	<p>選考の基準としては、上記の選考方法において選考した選手を県内強化練習及び県外大会での特別に強化を図る事とし、この強化練習に積極的に参加し競技力の向上の意欲ある選手で、本国体への出場権獲得できる選手を選考する。</p>	
選考の内容	<p>一次選考：当該年度において連盟主催により、公認競技場(県内3ヶ所)で各1回の選考会を実施する。1回当たり12ゲームを消化し、計36ゲームの総合成績にて候補選手を決定する。</p> <p>二次選考：一次選考で指名した選手を強化練習会及び九州連合会主催大会の選手権大会へ強制参加させて更に選手の競技力を確認する。</p> <p>最終選考：正選手及び補欠選手の決定後は、中央競技団体主催する西日本選手権大会へ強制的に参加させ、また、県内強化練習会へ積極参加を条件付ける事としてさらなる強化を図る。</p>	
その他	<p>(公財)全日本ボウリング協会及び佐賀県ボウリング連盟の当該年度の会員登録者であり、当該年度の選考会へ参加申込をして選考会へ参加した選手が資格を得る。(一次選考会へ参加していない選手は資格はないものとしている) 但し、その種別の定数に足りない場合は、選考委員会にて協議のうえ決定する。</p> <p>※強化指定選手も例外とはしていない。</p> <p>※当競技団体独自の国体選手選考規程を定めている。</p>	
問合せ先	名称	佐賀県ボウリング連盟
	担当者名	廣川 陽三

38 佐賀県なぎなた連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：（少年女子）佐賀県高等学校総合体育大会 （成年女子）参加希望選手によるリーグ戦 二次選考：（少年女子）一次予選ベスト4、各高監督推薦2名までで佐賀県なぎなた連盟が承認した選手によるリーグ戦 （成年女子）参加希望選手によるリーグ戦 最終選考：一次予選と二次予選の結果をもとに選考	
選考基準	強化練習、予選会の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考 予選は試合競技のみであるため、演技競技を加味する場合がある	
選考の内容	一次選考：5月末参加者の中から選考する 二次選考：6月末参加者の中から選考する 最終選考：予選の結果を重視しする	
その他	参加者は佐賀県なぎなた連盟の会員であること。 また、当該年度の連盟登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県なぎなた連盟
	担当者名	山本 智子

39 佐賀県アイスホッケー連盟

項目	内 容	
選考方法	①候補選手選定：9月上旬開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②九州プロ大会選手選定：10月下旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③冬季国体選手選定：12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で監督1名、選手16名を選定・承認。	
選考基準	ふるさと選手を含めた社会人・学生合同の強化練習、県大会等、総合的に勘案し、選手を選考。	
選考の内容	①9月上旬開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②10月下旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で監督1名、選手16名を選定・承認。	
その他	参加者は日本アイスホッケー連盟への当該年度の登録を完了していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アイスホッケー連盟
	担当者名	淵上 栄

40 佐賀県ゴルフ協会

項目		内容
選考方法	期日：5月4日（水）武雄嬉野カントリークラブ18Hストロークプレー 成年男子：48名エントリー中 上位3名選出 女子：10名エントリー中 上位3名選出	
選考基準	今年もコロナ過での開催となり、18Hに短縮して選考する。 当日朝体調チェック・検温しての実施し、練習グリーン等での会話自粛・カート内マスク着用を徹底する。カートには除菌シートを準備し、徹底した感染対策をし実施する。	
選考の内容	男女共、18ホールストロークプレーで最小スコアから上位3名を代表選手とする。同スコアの場合はマッチングカード方式で順位を決定する。	
その他	要項・申し込み書、各クラブに掲示、各クラブ通じて協会に申し込み締切4/4厳守。組み合わせ作成後各クラブに発送予定。 同時に日本スポーツマスターズの代表選考会も開催（男子63名エントリー、女子13名エントリーいずれも上位3名選出）	
問合せ先	名称	佐賀県ゴルフ協会
	担当者名	江頭 正次郎

41 佐賀県トライアスロン協会

項目		内容
選考方法	国体参加資格を満たしており国体出場の意志がある選手は、選考大会締め切りまでにエントリーし、同時に「国体・佐賀県代表出場希望」申請フォームを記入し、事前に佐賀県トライアスロン協会に申請を行う。	
選考基準	1. 当該年7月31日時点で、ジャパンランキング35位以上の選手 2. 当該年九州ブロック選手権(6月天草)で、佐賀県内上位選手	
選考の内容	上記選考で出場選手枠に満たない場合は、佐賀県強化指定選手・JTU認定記録会を参考に、佐賀県トライアスロン協会 強化委員会で審議し決定する。	
その他	佐賀県代表選考大会までに当該年度JTU会員登録の手続きが完了している者	
問合せ先	名称	佐賀県トライアスロン協会
	担当者名	強化委員長 柿塚 晋也

